

# X線写真で骨密度測定

## 骨粗しょう症早期発見に光

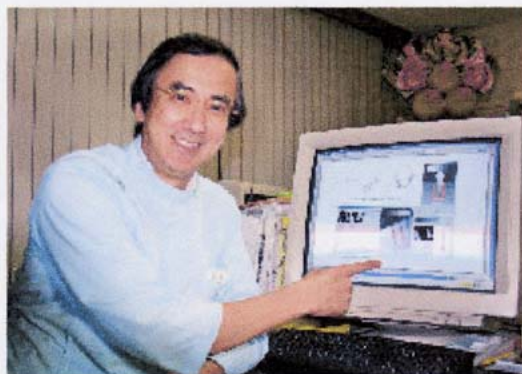
2007年01月04日 14:16 【共同通信】

全国で約1200万人の患者がいると推定されている骨粗しょう症で、兵庫県姫路市の歯科医高石佳知さん(52)が、あごの엑스線写真を活用した早期発見ソフト「簡易骨密度測定システム」を開発した。

大阪市立大医学部の三木隆己教授は「過去にない斬新なアイデア。医療効果が示されれば爆発的に普及するのではないか」と評価。高石さんは「ことしはこの分野に新しい光が差す年になるだろう」と話している。

歯科の診察に使うあごの엑스線写真をパソコンに取り込み、その明るさを測定することで、歯を支える骨の密度を数値化することに成功。撮影から診断まで5分程度で骨密度が判明する

骨粗しょう症はカルシウムの不足などで、骨密度が低下し、骨折に至る。自覚症状がないまま悪化するため、骨折後に発覚することが多い。



簡易骨密度測定システム

「簡易骨密度測定システム」について説明する歯科医の高石佳知さん＝兵庫県姫路市